

1

次の()にあてはまることばや数、式を書きましょう。

(1) $(+5)+(-3) = \square$, $(-3)+(+5) = \square$

よって、 $(+5)+(-3) = (-3)+(+5)$ になる。

このように、どんな数でも、 $\bigcirc + \square = \square + \bigcirc$ が成り立つ。

このきまりを \square という。

(2) $\{(-3)+(+5)\} + (-1) = \square$, $(-3) + \{(+5) + (-1)\} = \square$

よって、 $\{(-3)+(+5)\} + (-1) = (-3) + \{(+5) + (-1)\}$ になる。

このように、どんな数でも、 $\{\bigcirc + \square\} + \triangle = \bigcirc + \{\square + \triangle\}$ が成り立つ。

このきまりを \square という。

(3) $(+5)-(+6)+(-4)-(-3)$ を加法だけの式に直すと、 \square となり、

正の項は \square , 負の項は \square である。

2 次の計算をしなさい。

(1) $(+5)+(+3)-(-4)$

(2) $(-5)-(-3)-(+4)$

(3) $(-10)-(-2)-(+3)$

(4) $- (+2) - (+1) - (-3)$

(5) $10 - 6 - 8$

(6) $7 - 2.8 + (-1.2)$

(7) $(-\frac{3}{4}) - (-\frac{1}{2})$

(8) $3 - \{-9 + (-12 + 8)\}$

(9) $-0.5 - \{2 - (+\frac{2}{3})\}$